

実践報告

札幌市立屯田北中学校

(1) 研究内容

研究課題：「人権教育を基盤とした学校づくりに等の研究」

- 支え合い、認め合う豊かな人間関係能力の育成

(2) 実践の内容

【実践①】学ぶ必然性を感じ得るピア・サポート・プログラムの実践について

○ ねらい

ピア・サポートを導入し6年目となった。ピア・サポート・プログラムを楽しみながら実施し、一定のプラスの変容が生徒に見られるようになってきている。今後は、これらの学習がこれからの自分の生き方に有効であるという、学ぶ必然性を生徒が感得し、自ら学び実践することが大切となる。学習時の導入を工夫することで、課題意識を喚起し、学ぶ必然性を感じ、日常生活に生かすことで、一層の定着を図ることをねらいとする。

○ 学習内容

生徒の発達段階と学習時期を考慮しながら、各学年約8時間の実践を行った。

以下に本年度の題材名を掲載する。

1 学年	2 学年	3 学年
あいさつで名刺交換 ピア・サポートとは プラスの言葉とマイナスの言葉 話の上手な聞き方 あたたかな言葉がけ すごくトークキング 質問しよう 怒りの温度計 新しい仲間のために 1 年間の反省	人権について 元祖さっぽろラーメン横丁 うわさ話のわな 友達を勇気付ける言葉がけ 1 キャリアアンカーを探せ じゃんけんトーク 友達の秘密（守秘義務とリファア） 友達を勇気付ける言葉がけ 2 送別の合唱をつくる 1 年間の反省	人権について 月で遭難したら・・・ エゴグラム 1 対立の解消 プラスのストローク 1 すごくトークキング(面接 version) 友達の相談に乗ってみよう 受験期の不安と緊張に克つ！ 感謝のメッセージ 1 年間の反省

【実践②】学校全体で計画的に取り組む人権教育

○ ねらい

アイヌ文化、いじめ問題、障がい、福祉、LGBT など幅広く人権について考える場を各学年の総合的な学習の時間、道徳、特別活動で展開することで、様々な場面で人権や命の尊さ等に対して真摯に向き合い、感じ、考えることにより、人権感覚をもった生徒の育成をねらいとする。

○ 学習内容

- ・ いじめを題材とした道徳を 2 学期に各学年で実施
- ・ 命の尊さに関する講演を各学年で 1 回以上実施（交通事故被害者の方の講話、性に関する講演の中で LGBT やデート DV についてなど）
- ・ 総合的な学習の時間で「地域との関わり」の中でアイヌ文化について（1 年）、「障

がい、福祉について」(3年) 学び、調べ、発表する。

- 生徒会、学年協議会、各委員会での自主的な活動を促進する。(ゴミ拾いボランティア、他学年交流、いじめ防止標語など)

(3) 研究のまとめ

① 成果

- **仲間を思いやり、支え認め合う雰囲気、自己肯定感が高まっている。**
教育課程全体で、学習活動や実践に取り組んできたことにより、実施前の本校と現在を比べると圧倒的に生徒指導的な問題行動は減少している。全国学力・学習状況調査をはじめとする各種調査でも自己肯定感が高い。生徒アンケートからも「人間関係」「話しやすさ」「思いやり行動」などが良くなっている。
- **3年間を通してピア・サポートを学ぶ姿勢が備わってきている。**
発達の段階に応じて内容を吟味しながら系統立てて学習を進め、校内校外での研修を推進しているため、生徒、教師ともに学習する体制が整ってきている。

② 課題

- **教育課程におけるピア・サポート・プログラムの位置付けの在り方**
本校では、ピア・サポート・トレーニングの一部を道徳的価値項目と照らし合わせ、道徳の時間の題材として扱ってきた。今後、道徳の教科化にあたり、道徳として実施・評価するためには、導入展開や内容等を工夫していく必要がある。本校の特色ある取組の1つとして、教育課程全体のバランス等を十分に考慮し位置付けについて検討していく必要がある。
- 相手の立場に立った言動を心がける生徒は増えているが、不十分なところがある。生徒の人間関係形成能力や問題解決能力をより高めていくためには、小中高と連続した学びとなるように、小中高が連携した取組が求められる。

③ 提言「人権教育のすすめ」

- **ピア・サポート・プログラムがもたらす効果**
ピア・サポート・プログラムは子どもたちが自他のことをより良く理解し、人間関係を円滑にし、学んだ知識を活用し、自発的に他者支援をすることで、相手を思いやる、温かな学校風土の醸成を目指すものである。自分を知り、他者と協力して、課題を解決する力はこれからの社会を生き抜くために、ますます必要となる。何より、子どもたちが自分らしく生きられる環境が整えられる。少ない回数でも効果は期待できるので、できることから始めることをお勧めしたい。
- **人権について考えること**
人権について考えることは、自分を理解し、社会について学んでいくことである。いじめられたことのある生徒、アイヌの方々、障がいのある方、性的マイノリティの問題を知らずに過ごし、他人事と考えている生徒はまだ多い。自分を大切にし、相手の立場や気持ちを理解する上でも必要な学習である。